



J-GP3山田智己 JSB1000中須賀克行 J-GP2野左根航太(写真左から 各クラスポールポジションインタビュー)

**ISB 1000** QUALIFYING PRACTICE REPORT & INTERVIEW

## 中須賀克行が2戦連続のコースレコード更新でポールポジション! ディフェンディングチャンピオンの意地を見せたい秋吉耕佑 カワサキのホームコースで虎視眈々と勝利を狙う柳川明

全日本ロードレース選手権は、シリーズ第7戦を迎えた。今回の九州大会は、タイトルを争う上でのターニングポイントとなるレースとなりそうだ。事前テストをレースウィークに組み込まれたため、水曜日から走行を開始。さらにアジア選手権と併催ということで、金曜日から1セッションのみの走行で行われた。レースウィーク初日となった水曜日にアクシデントが発生した。ハルク・プロのエース高橋巧が、アンダーブリッジ下の手前で転倒、右鎖骨外側を骨折してしまい欠場を余儀なくされてしまう。急遽、アジア選手権SS600クラスにエントリーしている清成龍一が代役として参戦することになり、清成はダブルエントリーすることになった。木曜日から走り始め、すぐに1分50秒台をマークする非凡な才能を見せていた。

土曜日の天気予報は下り坂だったが、晴れ間も見えるほど予報は外れ、ドライコンディションで公式予選が行われた。ただ、Q1が始まったときは、雲が広がり、いつ雨が降ってきてもおかしくない天候だったため、各ライダーは早めにタイムアタックに入っていた。このQ1で1分49秒096という新しいコースレコードをたたき出したのは、秋吉耕佑だった。2番手に加賀山就臣、3番手に中須賀克行と続き、トップ3がコースレコードをブレイク。Q2では、加賀山、中須賀、清成、秋吉、柳川明と1分49秒台で続いた。

そして上位12台が進出できるQ3が始まるが、

開始直後の最終コーナーで加賀山が激しくクラッシュ! このアクシデントのため赤旗が提示され、加賀山はメディカルセンターに運ばれる。加賀山は、その後、ヘリコプターで福岡の病院に運ばれ右股関節脱臼と左足頸骨骨折という診断。今回はグリッドに並ぶことは難しそうだ。

この中断をはさみ、セッションは再開される。まず秋吉が、真っ先に1分48秒台に突入。これを見た中須賀もタイムアタックに入ると1分48秒794という驚速タイムをマーク! 前回に続きコースレコードを更新する走りでポールポジションを獲得した。「ベストタイムを出した周は、1コーナーで突っ込みすぎってしまったのですが、他が決まったので、いいタイムを出すことができました。今シーズンは、タイヤがブリヂストンさんによって、毎回初めて走るコースばかりですが、いい感じに集中できています。前回のSUGOも、ポールポジションでしたが、決勝で負けているので、今回は、しっかりレース後半で勝負できる車体に仕上がっていると思います。天候が気になるところですが、ドライでもウエットでもいいレースをしたいですね」と中須賀。

惜しくも2番手に終わった秋吉は「コンマ1秒足りませんでした。出せないタイムではないと思います。決勝では1分49秒前半で走ればいいですね。前回のような問題も出ないと思いますし、全日本ではしばらく気持ちのいいレースをしていないので、九州でいい走りをお

見せたいと思っています。応援よろしくお願いします」とマシンの仕上がりは上々と自信のコメント。

そして3番手に高橋の代役の清成がつけた。「マシンは巧のセットを少しアジャストしたぐらいで乗っています。ただ、パッと出て勝てるほど甘いクラスではないので、トップ争いをすることは難しいかもしれませんがベストを尽くします。ボクが走ることで、喜んでもらえれば幸いです。ボク自身もプラスになっているので頑張ります」と清成。高橋のためにも必ずチェッカーを受けると語っていた。

カワサキのエース柳川もコースレコードをブレイクし予選4番手につけた。「予選はちょっとタイミングが悪かった部分がありましたね。アベレージも悪くないので、前に出て抑えられれば勝機が見えてくると思います。

5番手に市販キット車ながら1分49秒台に入れた山口辰也がつけ、6番手にドウカティを駆る須貝義行が続いた。以下、芹沢太麻樹、徳留和樹、今野由寛と1分50秒台で続いている。今回も、まずは秋吉がレースをリードする可能性が高いが、中須賀、清成、柳川も簡単に逃がしはしないだろう。天気が雨となれば、大判狂わせがあるかもしれない。1周約4.6kmのオートポリスを18周で争われるJSB1000クラス決勝。果たして今年は、どんなドラマが待っているのだろうか?!

(佐藤寿宏)



中須賀克行

**JSB 1000**  
ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP

ポールポジション: R1'48.794

#21 中須賀克行 / ヤマハYSPレーシングチーム



## 自分のペースを刻んで 今回はしっかり勝ちたい!

『オートポリスでヤマハ初ポールポジションというのは、うれしいですね。Q1では、いつ雨が降るか分からなかったのですが、まずはいけるだけ試してみました。結果的に雨が降らなくてよかったですね。今年からブリヂストンさんにお世話になるようになり、初めて走るサーキットばかりですが、すごく相性がいいですね。今回も、こんなに速いタイムで走ったことがなかったですし、タイヤの力を借りて、いいリズムで走れています。決勝は秋吉さんがレースを引っ張ると思いますが、しっかりタイムを刻んで勝負したいです』



2番手 / 秋吉耕佑

**J-GP2**  
ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP

QUALIFYING PRACTICE  
REPORT & INTERVIEW

## 野左根航汰が2連続ポールをゲット! 「前回のよう独走で優勝を決めたい」



今にも雨が降りそうな雲行きの中で始まったJ-GP2クラスの公式予選。風も強く、ときおり雨がパラつく難しい状況だったが、何とかドライコンディションで40分間のセッションが行われた。真っ先に浦本修充が1分53秒396をマークし、コースレコードをブレイク。その後、野左根航汰が、これを上回る1分53秒102をたたき出しトップタイム。2戦連続ポールポジションを獲得した。

3番手に生形秀之が1分53秒322、4番手に高橋英倫が1分53秒733、5番手に岩田悟が1分53秒758、6番手に中本郡が1分53秒956で続き、こままでが1分53秒台をマークした。



ポールポジション: 1'53.102

#31 野左根航汰 / ウェビックチームノリックヤマハ

『天気予報で雨が降ると出ていたので、レインで走る覚悟をしていました。実際、途中で雨が降ってきて難しいコンディションでしたが、何とかコースレコードを出すことができて良かったです。ただ、目標としていたのは1分52秒台だったので、決して満足いくタイムではないですね。決勝は、夕方4時半頃のスタートなので天気が心配ですが、ドライでもレインでも前回のよう独走で勝てるように頑張ります』



2012 PETRONAS ASIA ROAD RACING CHAMPIONSHIP / ARRC ROUND 4



公式予選 結果  
OFFICIAL PRACTICE TIME

Pos	No	Rider	Time
1	12	Hadi Wijaya	R1'30.436
2	222	Reynaldo Chrisantho Ratukore	R1'30.641
3	19	Norizman Ismail	R1'30.945
4	61	Ferlando Herdian	R1'30.947
5	63	Md Amirul Ariff Musa	R1'30.986
6	36	Md. Affendi Rosli	R1'31.073
7	118	Md Adib Rosley	R1'31.158
8	33	H A Yudhistira	R1'31.437
9	23	Gupita Kresna Wardhana	R1'31.482
10	96	Denny Triyugo Laksono	R1'31.578
11	95	Prawat Yannawut	1'31.613
12	97	Wawan Hermawan	1'31.921
13	50	Md Afif Amran	1'32.315
14	85	Kannasoot Sitthisena	1'32.570
15	67	Kaito Toba	1'32.587

Course Record ( Previous Record 1'31.583 )

※上位15位までを掲載しています。



公式予選 結果  
OFFICIAL PRACTICE TIME

Pos	No	Rider	Time
1	2	Hiroki Ono	R1'27.670
2	6	Denny Triyugo Laksono	1'28.067
3	3	Apiwat Wongthananon	1'28.071
4	4	Joshua Frederick Hook	1'28.245
5	1	Hikari Okubo	1'28.310
6	5	Sasitharen Sukumaran	1'28.833
7	15	Md Fitri Ashraf Razali	1'28.851
8	14	Iswandi Muis	1'29.202
9	7	Kanatat Jaiman	1'29.660
10	10	Joshua William Pickering	1'30.897
11	9	Lin Yu-Jhih	1'30.933
12	11	Ko I-Chen	1'31.066
13	16	Garry Jr Agustin Caneda	1'31.663
14	12	Deepak Papineni	1'35.780

R : COURSE RECORD



RACE1 REPORT

- 予選/9月7日(金) 決勝レース1/9月8日(土)
- 天候・路面/予選(晴/ドライ)・決勝レース1(晴/ドライ)
- 決勝レース1/10周



藤原克昭が独走で優勝!!  
伊藤勇樹も連続3位表彰台

11周で始まった決勝レース1、清成龍一がホールショットを奪って始まったが、オープニングラップの途中で複数台による転倒が発生して赤旗中断。レースは仕切り直しとなり、1周減算の10周で再開された。

2度目のスタートも清成がホールショットを奪い、伊藤勇樹、藤原克昭と続くが、藤原がこの超スプリントレースを出来るだけ早いタイミングでリードすべく、伊藤そして清成をパス。オープニングラップをトップで戻って来るとハイペースで逃げる。清成、伊藤、そしてアズラン・シャー・カマルザマンの3台がそれに続くが、3周目にはトップとの差は1秒近いものとなり、激しい2位争いへと変わる。さらに後方では、ザムリ・ババと急速スポット参戦した小林龍太が競り合いを展開する。

5周目に藤原は後続に2秒以上の差を付け、早くも独走体制。清成、伊藤、アズランの3台による激しい2位争いは、順位を入れ替えながら続き最終周回の勝負となった。アズランが清成をかわして2位に浮上すると、伊藤もその直後に清成をパスして3番手。結局、そのまま10周が終了し、藤原が中国のレース2に続いて連勝、ポイントを137とすると4位に終わった清成との差を11へと広げること成功したのだった。アズランが2位、伊藤も中国のレース1、2に続き、3連続3位表彰台となった。



QUALIFYING PRACTICE  
REPORT & INTERVIEW

山田誓己がレコードを更新して  
ポールポジションを獲得! 初優勝を狙う



J-GP3クラス、40分間の予選セッション、序盤にトップだったのは長島哲太で1分57秒台前半のタイム。菊池寛幸、山田誓己、山本剛大らが続く。セッションの後半に入り、各ライダーとも再びアタックを開始する中、山田が2004年に小山知良がマークしたレコードに0.004秒と迫る1分57秒035を記録、トップに立つ。その後、1分56秒765までタイムアップし、今季2度目、オートポリスでは昨年に引き続いてポールポジションを獲得した。

2番手は最終ラップのアタックで一気に上げた徳留真紀が57秒263、3番手に長島が57秒329、山本が57秒680で4番手、菊池が57秒735で続いた。



ポールポジション: R1'56.765  
#5 山田誓己 / TEAM PLUSONE&ENDURANCE

『オートポリスは去年もポールポジションを獲得しているので、すごく自信はありました。金曜日の走行でロングランをした時に、タイヤの状態がよくなかったので、予選では最初は確認のために同じタイヤで走って、途中からは違うタイヤで走りました。タイムも出ましたし、レースでも問題なさそうなのでドライだったら、今のところ不安はないです。タイムも僅差ですし、ここは直線が長くてレーシングスピードも高いので、軽量級だとスリップストリームの使い合いになると思いますが、その中でレースをリードしていけたらなと思っています。ランキング的にもすごく重要な1戦ですし、まだ全日本で優勝がないので、とにかく勝ちたいという気持ちが強いですね』



●予選:天候/曇 路面/ドライ 出走28台  
●決勝:コースイン14:50 スタート15:10(18周)

Pos	No.	Rider	Team	Machine	BestTime
1	21	中須賀 克行	ヤマハYSPLレーシングチーム	YZF-R1	R1'48.794
2	1	秋吉 耕佑	F.C.C.TSR Honda	CBR1000RR	R1'48.888
3	634	清成 龍一	MUSASHI RTハルクプロ	CBR1000RR	R1'49.206
4	87	柳川 明	TEAM GREEN	ZX-10R	R1'49.298
5	104	山口 辰也	TOHORacingwithMORIWAKI	CBR1000RR	1'49.666
6	8	須見 義行	チームスガイレレーシングジャパン	1098R	1'50.425
7	1	芹沢 太麻樹	エヴァRT初号機トリックスター-FRTR	ZX-10R	1'50.740
8	9	徳留 和樹	Honda鈴鹿レーシングチーム	CBR1000RR	1'50.914
9	32	今野 由寛	MotoMap SUPPLY	GSX-R1000	1'50.938
10	7	東村 伊佐三	RS-ITOH&ASIA	ZX-10R	1'51.843
11	33	藤田 拓哉	DOG FIGHT RACING・YAMAHA	YZF-R1	1'52.140
12	71	加賀山 就臣	Team KAGAYAMA	GSX-R1000	計測出来ず
***** 以上Qualify3にて決定*****					
13	86	太田 達也	グリーンクラブ能塚&R.P.WITH	ZX-10R	1'52.666
14	17	吉田 光弘	Honda緑陽会熊本レーシング	CBR1000RR	1'52.698
15	19	片平 亮輔	8810RwithMCR	CBR1000RR	1'52.756
16	55	須磨 貞仁	CONFIA HMF	GSX-R1000	1'53.181
17	13	戸田 隆	ファーストスター&GTRIBE	S1000RR	1'53.256
18	15	久保山 正朗	Honda浜友会浜松エスカルゴ	CBR1000RR	1'53.518
19	83	刈田 庄平	Team38 PS-K ABS	ZX-10R ABS	1'53.704
20	35	原田 洋孝	RSガレーンハラダ姫路	ZX-10R	1'53.778
21	37	鈴木 大五郎	BKRS☆ファクトリーヒーロ	GSX-R1000	1'53.826
22	78	長崎 賢雄	ZOOM R.T.	CBR1000RR	1'56.103
23	41	有田 裕二	シイク&エスバル	CBR1000RR	1'56.270
24	27	村上 雅彦	チームムラカミ&ウッドストック	ZX-10R	1'56.294
***** 以上Qualify2にて決定*****					
***** 以下Qualify1にて決定*****					
25	99	大樂 竜也	tFLEX&DeakCraft	RC8TRACK	1'56.626
26	52	池田 秀成	シイク&エスバルCo	CBR1000RR	1'56.671
27	74	北折 淳	Honda緑陽会熊本レーシング	CBR1000RR	1'57.556
28	81	田中 公司	グリーンズ・パーク田中RT	ZX-10R	1'57.952

\*\*\*\*\* 以上予選通過基準タイム (2'00.235 - 110%) \*\*\*\*\*  
Entry :28 Start :28  
StartTime:13:30'00 FinishTime:14:00'00  
StartTime:14:10'00 FinishTime:14:25'00  
StartTime:14:35'00 FinishTime:14:58'47  
赤旗時間:14:41'04~14:43'53(2分49秒)  
赤旗後コースオープン:14:50'00  
赤旗中断後、予選残り時間を8分47秒とした。  
R :Course Record ( Previous Record 1'49.474 )



●予選日:9月7日 天候/晴 路面/ドライ 出走23台  
●決勝レース2:コースイン13:45 スタート14:00(11周)

Pos	No.	Rider	Team	Machine	BestTime
1	37	Katsuaki Fujiwara	Manual-Tech BEET Kawasaki Raci	Kawasaki	R1'54.413
2	23	Ryuichi Kiyonari	MUSASHI Boon Siew Honda Racing	Honda	R1'55.014
3	19	Yuki Ito	PETRONAS Syntium Moto Yamaha	Yamaha	R1'55.221
4	52	Md Zamri Baba	PETRONAS Hong Leong Yamaha	Yamaha	R1'55.312
5	25	Azlan Shah Kamaruzaman	MUSASHI Boon Siew Honda Racing	Honda	R1'55.355
6	16	Hiroichiki Kunikawa	HiRaNo-Hou You	Honda	R1'55.466
7	17	Makoto Inagaki	Akeno Speed Racing Team	Yamaha	R1'55.684
8	32	Mitunori Okamura	RSG&DREAM Kitakyushu with PHOE	Honda	R1'55.827
9	634	Ryuta Kobayashi	MUSASHI Boon Siew Honda Racing	Honda	R1'55.973
10	162	M. Fadli Imammuddin	Manual-Tech BEET Kawasaki Raci	Kawasaki	R1'56.220
11	20	Dimas Ekky Pratama	Yamaha Indoprom TJM Yamalube K	Yamaha	R1'56.249
12	26	Ahmad Fuad Baharudin	BiKe A.R.T - Kawasaki Racing	Kawasaki	R1'56.320
13	6	Doni Tata Pradita	Yamaha Indoprom TJM Yamalube K	Yamaha	1'56.618
14	75	Sasuke Shinozaki	SP TADAO Racing Team	Yamaha	1'56.884
15	63	Ahmad Nashrul Baharudin	BiKe A.R.T - Kawasaki Racing	Kawasaki	1'57.093
16	53	Md Emir Firdaus Hasan	MUSASHI Boon Siew Honda Racing	Honda	1'57.325
17	21	Md Zaqwan Zaidi	MUSASHI Boon Siew Honda Racing	Honda	1'57.389
18	18	Thitipong Warokorn	AP Honda Thailand	Honda	1'57.591
19	35	Tadahito Dashi Watanabe	Suzuki Pitipinas	Suzuki	1'57.853
20	93	Md Farid Badrul Hisham	PETRONAS Hong Leong Yamaha	Yamaha	1'58.214
21	54	Sudarmono	Yamaha Yamalube KYT ASH	Yamaha	1'58.511
22	28	Ratthapong Wilairot	AP Honda Thailand	Honda	1'58.838
23	12	Ali Adriansyah Ruspimputro	Yamaha Yamalube KYT ASH	Yamaha	1'59.662

\*\*\*\*\* Not Qualified (2'03.566 - 108%) \*\*\*\*\*  
Entry :23 Start :23  
StartTime:15:40'00 FinishTime:16:20'00  
R :Course Record ( Previous Record 1'56.514 )



●予選:天候/晴 路面/ドライ 出走40台  
●決勝:コースイン11:35 スタート11:50(14周)

Pos	No.	Cls.	Rider	Team	Machine	BestTime
1	5	y	山田 哲己	TEAM PLUSONE&ENDURANCE	NSF250R	R1'56.765
2	634		徳留 真紀	MUSASHI RTハルクプロ	SF250R	1'57.263
3	45		長島 哲太	Project7C HARC	NSF250R	1'57.329
4	4		山本 剛大	Team NOBBY	NSF250R	1'57.680
5	6		菊池 寛幸	KoharaRacing	NSF250R	1'57.735
6	3		仲城 英幸	Project7C HARC	NSF250R	1'58.060
7	31	y	佐野 優人	SRS-JwithMORIWAKI	MD250GP3	1'58.195
8	9		森 俊也	Team NOBBY	NSF250R	1'58.704
9	1		藤井 謙汰	F.C.C.TSR Honda	TSR3B	1'58.737
10	55	y	國峰 啄磨	JARIRacing+ENDURANCE	NSF250R	1'59.010
11	16	y	亀井 雄大	18 GARAGE RACING TEAM	NSF250R	1'59.307
12	74		三原 壮紫	ライダーチームアイファクトリーBB	NSF250R	1'59.593
13	41		小室 旭	41PLN・Global.communication.ioda	JR002	1'59.749
14	13		岡田 義治	T.ヨシノハルASPIRATION	NSF250R	1'59.780
15	93		谷川 壮洋	CLUB PLUS ONE	NSF250R	1'59.805
16	22		高杉 奈緒子	モトバムwithヒポボタマス	NSF250R	2'00.162
17	26		矢作 雄馬	BIR Racing	NSF250R	2'00.170
18	18	y	北見 剣	ライダー チームアイファクトリー	NSF250R	2'00.204
19	50	y	長尾 健吾	ライダー チームアイファクトリー	NSF250R	2'00.338
20	70		葛西 雅迪	タニシ&Speed Heart YERC	NSF250R	2'00.344
21	82		野寄 真二	TeamHIRAKAWA15C	NSF250R	2'00.358
22	14		大西 隼	Project7C HARC	NSF250R	2'00.422
23	72	y	三好 菜摘	オールスターモータースポーツ	NSF250R	2'00.664
24	75		古市 右京	ASPIRATION.A-next	NSF250R	2'00.707
25	47		安村 武志	犬の乳酸菌JR/プリミティブRT	NSF250R	2'00.749
26	46	y	伊達 悠太	犬の乳酸菌/PRCS&バトルRF	NSF250R	2'00.928
27	77		山本 恭裕	広島カジタRacing&LRC	NSF250R	2'01.019
28	71		中臺 翔太	テルル&イー・モバイル★KoharaRT	NSF250R	2'01.031
29	52	y	鳥羽 蓮	TEAM TEC2 & TDA	TEC2-12	2'01.398
30	99	y	中本 貴也	18 GARAGE RACING TEAM	NSF250R	2'01.594
31	37		高木 伸一	チームライフ・ドリーム北九州	NSF250R	2'01.760
32	88		岡崎 静夏	KoharaRacing	NSF250R	2'02.358
33	73	y	岡部 圭佑	CLUB PLUS ONE	NSF250R	2'02.456
34	44	y	林 祥由	TEAM YERC ドリームキッズ	NSF250R	2'02.715
35	43		畑中 要	FTR・タイヤナビ・(株)遠藤住宅	NSF250R	2'02.876
36	57		大塚 浩二	TR-FujiwaraYERC	ACH250M	2'03.044
37	87		野村 允	RSS★SHOWA&華山倶楽部	NSF250R	2'03.405
38	33		川瀬 啓一郎	チーム KOHSAKA	NSF250R	2'03.430
39	81		鈴木 正雄	X-LAND&江藤建設工業	NSF250R	2'03.670
40	83		中村 正秀	RT☆グロリーヘア&ENG林	NSF250R	2'04.024

\*\*\*\*\* 以上予選通過基準タイム (2'08.441 - 110%) \*\*\*\*\*  
Entry :40 Start :40  
StartTime:9:30'00 FinishTime:10:10'00  
R :Course Record ( Previous Record 1'57.031 )



●予選:天候/曇 路面/ドライ 出走16台  
●決勝:コースイン16:10 スタート16:25(16周)

Pos	No.	Rider	Team	Machine	BestTime
1	31	野左根 航汰	ウエビックチームノリックヤマハ	YZW-N6	R1'53.102
2	634	浦本 修亮	MUSASHI RTハルクプロ	CBR600HP6	R1'53.306
3	3	生形 秀之	エスバルドリームレーシング	GSX-MFD6	1'53.322
4	51	高橋 英倫	PITCREW&松戸FLASH	ZX-6R	1'53.733
5	34	岩田 悟	CLUB PLUS ONE	HP6	1'53.758
6	16	中本 都	リリカAMENA with out Run	YZF-R6	1'53.956
7	26	渡辺 一樹	RS-ITOH&ASIA	ZX-6R	1'54.179
8	54	井上 哲悟	PITCREW&松戸FLASH	ZX-6R	1'54.259
9	10	野田 弘樹	テルル&イー・モバイル★KoharaRT	TSR6	1'54.622
10	46	星野 知也	ミクニBeatテリ&カリー	GSXR600	1'54.675
11	14	大木 崇行	MOTO BUM HONDA	CBR600RR	1'55.636
12	392	津田 一磨	ミクニBeatテリ&カリー	GSX-R600	1'56.379
13	79	朝比奈 正	アサヒレーシング	Z600	1'58.782
14	17	中尾 健治	R&Tサークル-YSP宇部	YZF-R6	1'59.442
15	37	赤間 清	CLUB HARC-PRO.	CBR600HP	1'59.631
16	2	関口 太郎	Team TARO PLUS ONE	TSR2	2'01.776

\*\*\*\*\* 以上予選通過基準タイム (2'04.412 - 110%) \*\*\*\*\*  
Entry :16 Start :16  
StartTime:16:00'00 FinishTime:16:40'00  
R :Course Record ( Previous Record 1'53.311 )

INFORMATION



全日本ロードレース選手権シリーズ テレビ放映予定

2012年シーズンは全日本ロードレース選手権、そして全日本モトクロス選手権がレース開催8日後に録画映像で放送されることになりました。放送局はBS12 Twelliv(トゥエルビ)で完全無料放送となります。現場ではカパーでできなかったシーンや迫力のバトルをあらためてお楽しみください!!

■放映スケジュール

全日本ロードレース選手権第7戦AUTOPOLIS 9月17日(月) 20:00~20:55

詳しくはファンサイトで→<http://superbike.jp/>

TIME TABLE

※タイムテーブルは、変更されることがあります。

第7戦AUTOPOLIS 9月9日(日)

11:35 - J-GP3 コースイン~選手紹介
11:50 - J-GP3決勝レース..... 14Laps
12:45 -13:35 ビットウォーク/キッズパレード・エクスパリエンス
13:45 - ASIA SS600 コースイン~選手紹介
14:00 - ASIA SS600決勝レース2..... 11Laps
14:50 - JSB1000 コースイン~セレモニー・選手紹介
15:10 - JSB1000決勝レース..... 18Laps
16:10 - J-GP2 コースイン~選手紹介
16:25 - J-GP2決勝レース..... 16Laps
17:25 - サーキットクルージング(2輪体験走行)